

近現代美術に関する総合的研究 (①美02-10-5/5)

目 的

本研究は、多様化する現代美術の動向の調査研究を含め、日本近代美術の研究資料のあり方、研究の手法の開発、研究成果の公開の仕方を研究し、文化財行政に寄与することを目的としている。そのため、具体的には、第一にこれまで未公開の基礎資料の収集整理の上、データ化等の公開にむけた調査研究を行う。第二に資料にもとづく研究協議、論文等の研究成果の公開を進める。

成 果

1. 未公開資料の収集整理とデータ化に向けた調査研究では以下の4件を行うことができた。

2004年に逝去した日本画家、佐藤多持が所蔵していた資料のうち美術雑誌、及び知求会をはじめとする諸団体の目録類を遺族より受贈した。

矢代幸雄筆ベレンソン宛書簡の翻刻を行った。

笹木繁男主宰現代美術資料センター寄贈資料の整理を進めた。

想-IMAGINE上での公開に向けて、既刊の『日本美術年鑑』の年史、文献目録、物故者の各データ（1936年から2003年）の整理を行った。
2. 資料にもとづく研究協議、論文等の研究成果の公開促進としては、以下を行った。
 - (1) 昨年度を受贈作品5点を黒田清輝展（岩手県立美術館、7.17-8.29）で特別公開し、それに伴って配布するパンフレットに掲載するために当該作品の画像と作品解説を作成した。
 - (2) 黒田家遺族から寄贈された資料写真の中から73点を選び、解説を付して「写真で見る黒田清輝の日常」と題するデジタルコンテンツを作成し、黒田記念館に設置した64インチ大型タッチパネルにて公開した（2010.11.3～）。そのうち3点の写真については最新の「絵引き」技術を用い、被写体部分をタッチすることによって、それに関する解説が見られるように作成した。
 - (3) 黒田清輝の描いた油彩画33点の高精細デジタル撮影と赤外線撮影を行った。

論文等掲載数 5件

- ・塩谷純「川端玉章の研究（三）」『美術研究』401 pp.29-49 10.8
- ・山梨絵美子「渡辺幽香 幼児図」『国華』1382 pp.45-47 10.12
- ・田中淳「『後期印象派・考—1912年前後を中心に』連載をめぐって」『美術史論壇』31 pp.265-298 11.1（韓国語、日本語併載）
- ・山梨絵美子「平成二十一年度に寄贈された黒田清輝作品について—《舟》、《芍薬》、《日清役二龍山砲台突撃図》、《林政文肖像》二点」『美術研究』402 pp.106-113 10.2
- ・田中淳「画家中川一政 ひねもす走りおおせたる者」『没後20年 中川一政展』カタログ（日本橋高島屋）pp.180-187 11.3

研究組織

○山梨絵美子、田中淳、塩谷純、中村明子（以上、企画情報部）、三上豊、丸川雄三（以上、客員研究員）